

お金の流れ学び 生徒ら興味津々

奈良・三笠中

ファイナンシャルプランナー(FP)が中学生にお金の流れを説明する授業が18日、奈良市三条川西町の市立三笠中学校であった。「総合的な学習の時間」で今年で3年目。授業は1年間通して実施され、生徒は身近なお金をテーマに話し合う。

中学2年生約280人が対象。講師は税理士事務所や保険会社で働く会社員で、授業の日は会社を休みボランティアで担当する。今年度は三笠中



お金について連想したことを模造紙に書く中学生ら＝奈良市で

で計8回の授業が予定されている。

市内のFP青山久仁子さん(53)が企画した。借金を積み重ねたり、無駄な保険をかけたたりする人の相談を受けることが多く、若い時からの金融教

育の必要性を感じ、地元
の三笠中に持ちかけたとい
う。

この日の授業では、生徒はお金から連想できることを話し合った後、国民1人あたりが負担する
公立中学生1人あたりの

年間教育費を予想した。

生徒からは「12万円」「100万円」と声が上がったが、正解は約90万円。教室内ではあちらこちらから「高い」と声が上がりに、生徒は驚いた表情を見せていた。